

Mac OS X インターネットアプリケーション InternetConnect の ご利用方法 < WARPSTAR TA モード (シリアルポート接続) 編 >

はじめに

この説明書では、Aterm WL50T または WB50T のシリアルポートに Mac OS X を接続して、TA モードでお使いいただくための設定を説明しています。

TA モードでインターネットに接続するには Mac OS X に付属のダイヤルアップソフトウェア「Internet Connect バージョン 1.0」を使ってインターネットに接続するための設定を行います。

Macintosh と WARPSTAR を RS-232C ケーブルで接続して Internet Connect を利用することができる機種は次の通りです。

AtermWL50T/AtermWB50T

(ご注意)

- ・本書では、Power Mac G3 に Mac OS X 10.0 (Build 4K78) をインストールし、InternetConnect を使ってインターネットプロバイダ BIGLOBE に接続した場合の画面を用いて説明しています。
- ・Mac OS X では、AtermWL50T または WB50T の USB ポートに接続して TA モードを利用する USB-TA モードをご使用になれません。

目次

1. 準備
 - 1.1 WARPSTAR の内蔵 TA 機能ファームウェア
 - 1.2 CCL ファイル
 - 1.3 Macintosh と WARPSTAR の接続
2. Internet Connect アプリケーションを開く
3. ネットワークの設定
 - 3.1 ポートと設定
 - 3.2 TCP/IP の設定
 - 3.3 PPP の設定
 - 3.4 モデムの設定
4. 接続
5. 切断

1. 準備

1.1 WARPSTAR の内蔵 TA 機能ファームウェア

WARPSTAR を「InternetConnect」が利用できるように、WARPSTAR 内蔵 TA のファームウェアをバージョンアップします。

内蔵 TA 用ファームウェアの最新版(Ver1.50 以降)をホームページ AtermStation からダウンロードし、WARPSTAR をバージョンアップしてください。ユーティリティのインストール方法、ファームウェアをバージョンアップする方法は、ホームページ AtermStation や WARPSTAR に添付されている CD-ROM をご覧ください。

Internet Connect の動作確認を行ったファームウェアのバージョン

AtermWL50T/WB50T (内蔵 TA ファームウェアバージョン Ver1.50)

1.2 CCL ファイル(同期接続の場合以外)

同期接続以外を行う場合は、下記の CCL ファイル(モデムスクリプト)を Macintosh の Mac OS X がインストールされているボリュームの「Library」 - 「Modem Scripts」フォルダ内にコピーします。

CCL ファイルは WARPSTAR に添付されている CD-ROM の「TA モード」 - 「CCL」フォルダに入っています。

非同期 57.6Kbps	NEC AtermIT 57.6K
PIAFS 32K	NEC AtermIT 32K PIAFS
PIAFS 64K	NEC AtermIT 64K PIAFS

PIAFS64Kbps 接続でインターネット接続している場合に Web ページの表示が途中でとまることがあります。この場合は、PIAFS のアクセスポイントへ 32Kbps 通信で接続すると回避されます。Web ページが表示されない時、ブラウザの「中止」ボタンをクリックすると表示がおこなわれる場合があります。

1.3 Macintosh と WARPSTAR を接続

- (1) Macintosh を Mac OS X で再起動します。
- (2) Macintosh のモデムポートまたはプリンタポートに WARPSTAR を RS-232C ケーブルで接続します。

これで、準備は終了です。

2. Internet Connect アプリケーションを開く

(1) 「DOCK」の「Finder」をクリックします。



(2) ツールバーの「アプリケーション」をクリックします。



(3) 「Internet Connect」アイコンをダブルクリックします。



(4)「編集」をクリックして、ネットワークの設定に進みます。

モデムポート

設定： モデムポート

サービスプロバイダ：

電話番号：

代替番号：

名前：

パスワード：

これらの設定は「ネットワーク」環境設定で変更できます。 編集...

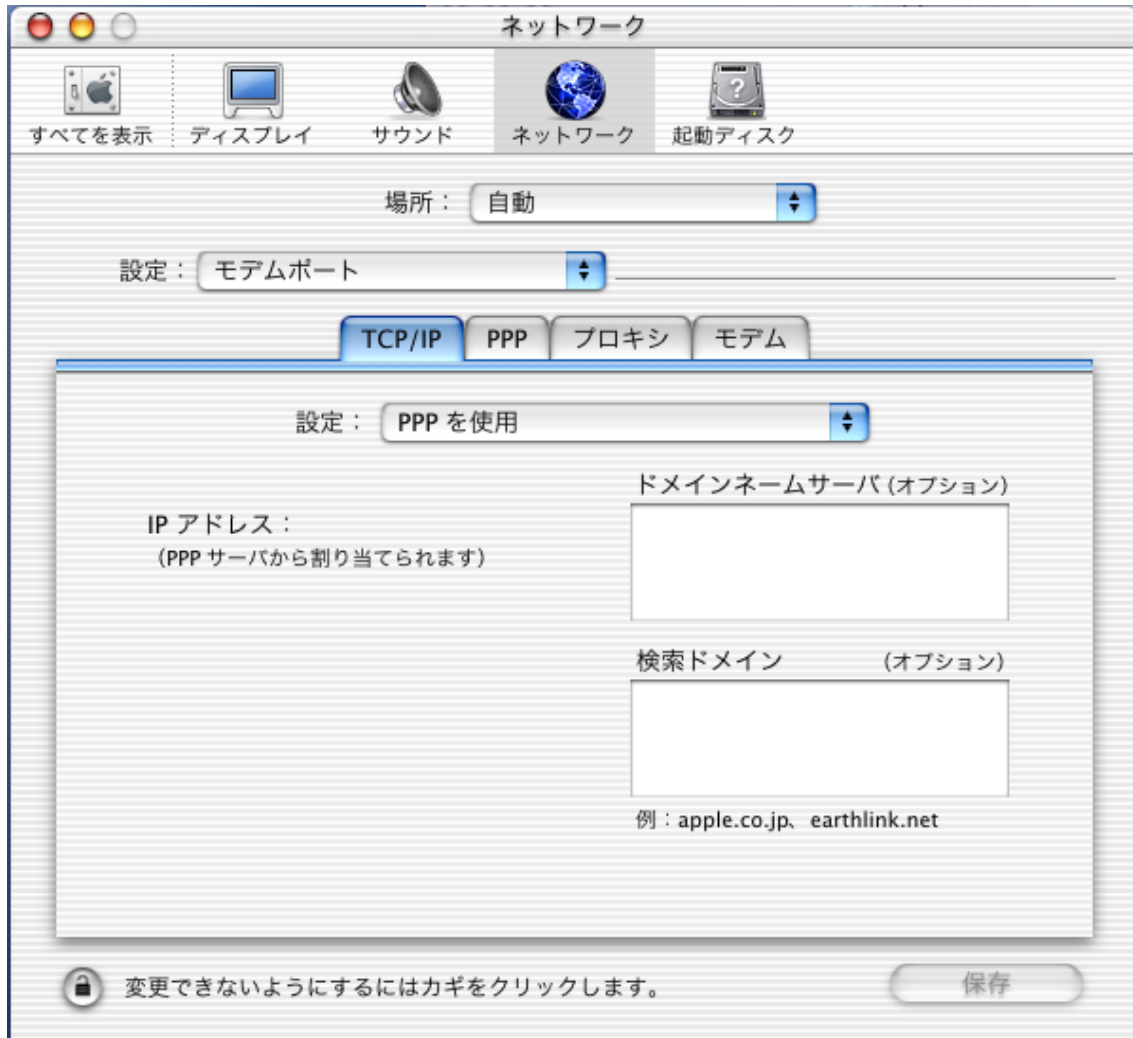
状況： 待機中

接続

3. ネットワークの設定

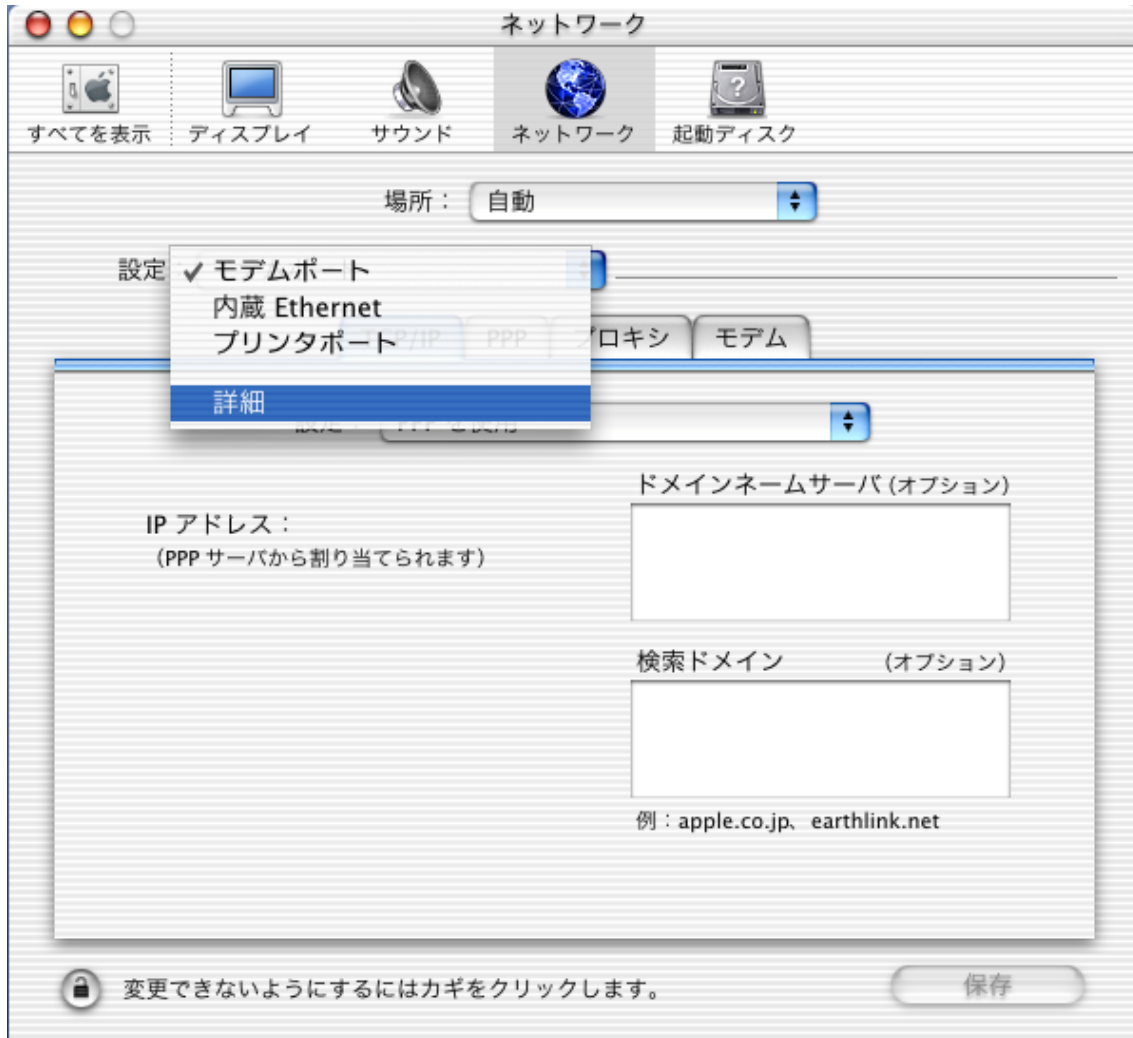
3.1 ポートと設定

(1) 「システム環境設定」の「ネットワーク」設定画面が表示されます。



(2) 「設定：」のポップアップメニューから「詳細」を選びます。

(Mac OS X 10.1の場合は「表示：」のポップアップメニューから「動作中のネットワークポート」を選びます。)



(3)「ポートと設定」のリスト内に「モデムポート」「プリンタポート」が表示されています。ここでは、Macintoshの「モデムポート」にRS-232CケーブルでWARPSTARを接続した場合の例を示します。



(4) WARPSTAR を接続したポート「モデムポート」をドラッグしてリストの一番上に移動し、複数ポートが動作中の時の優先順位を1番に指定します。



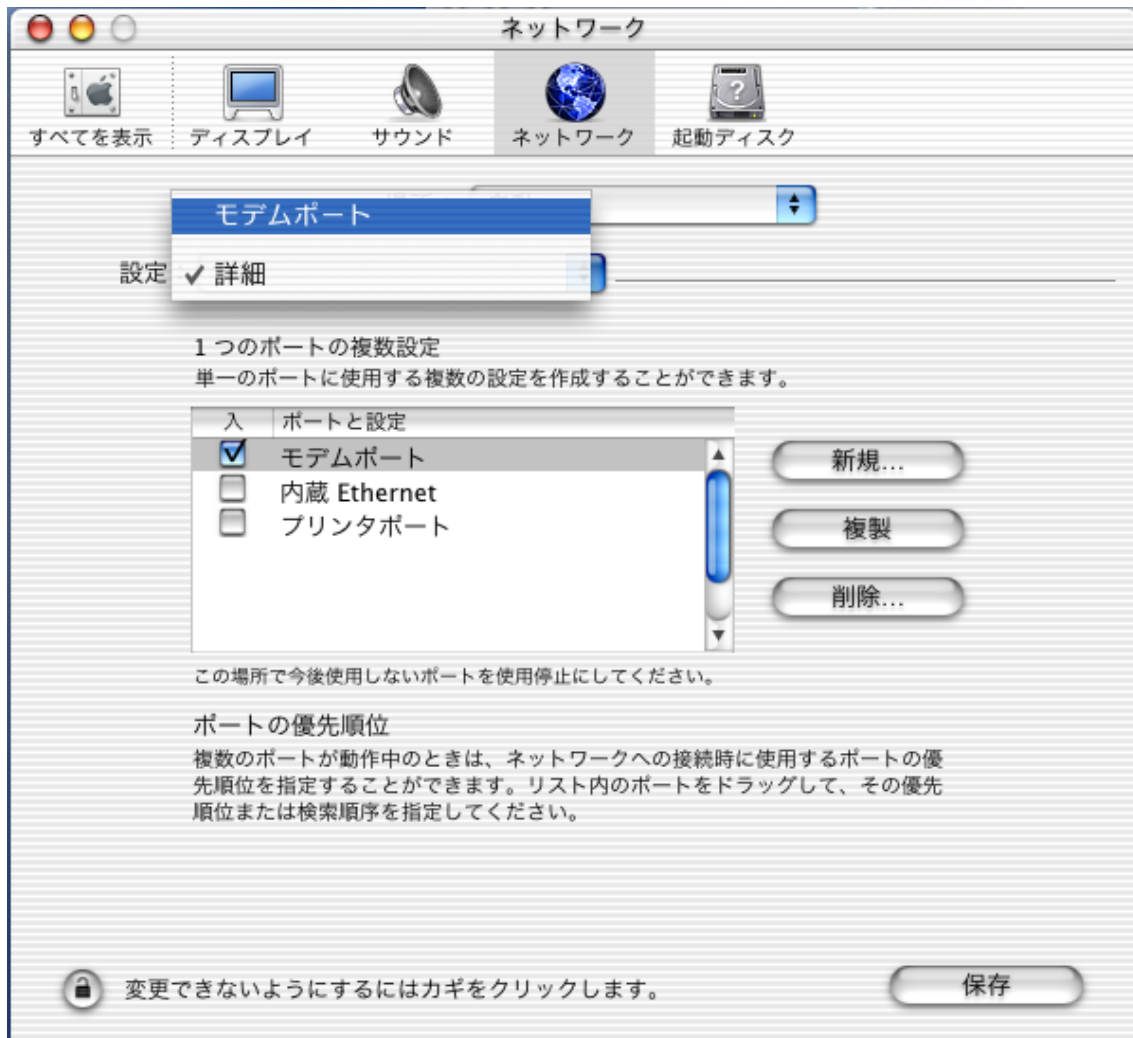
(5) 他のポートを使用停止にする場合は、リスト内の「入」チェックボックスのチェックをはずしてください。



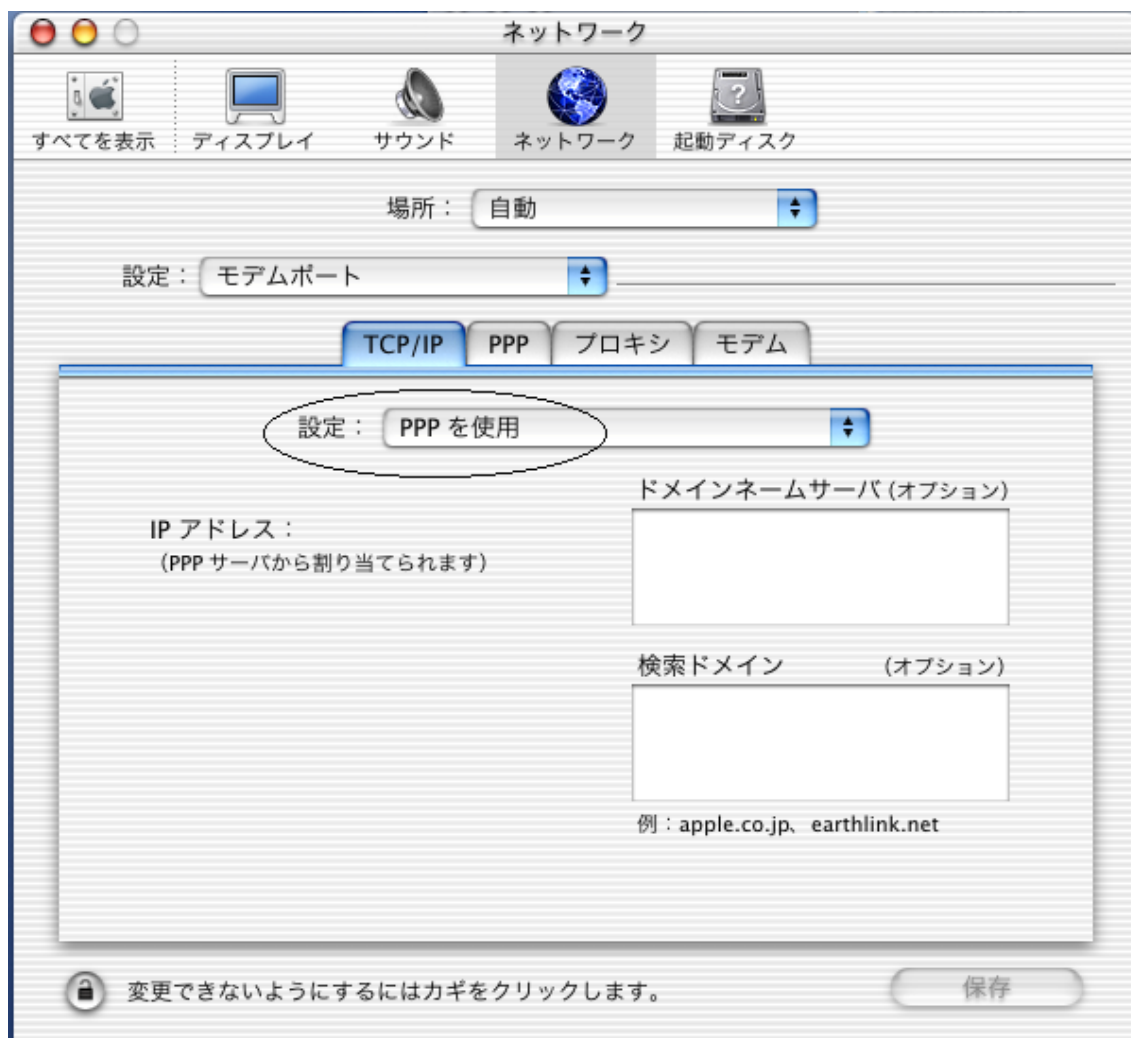
3.2 TCP/IPの設定

(1)「設定：」のポップアップメニューから「モデムポート」を選びます。

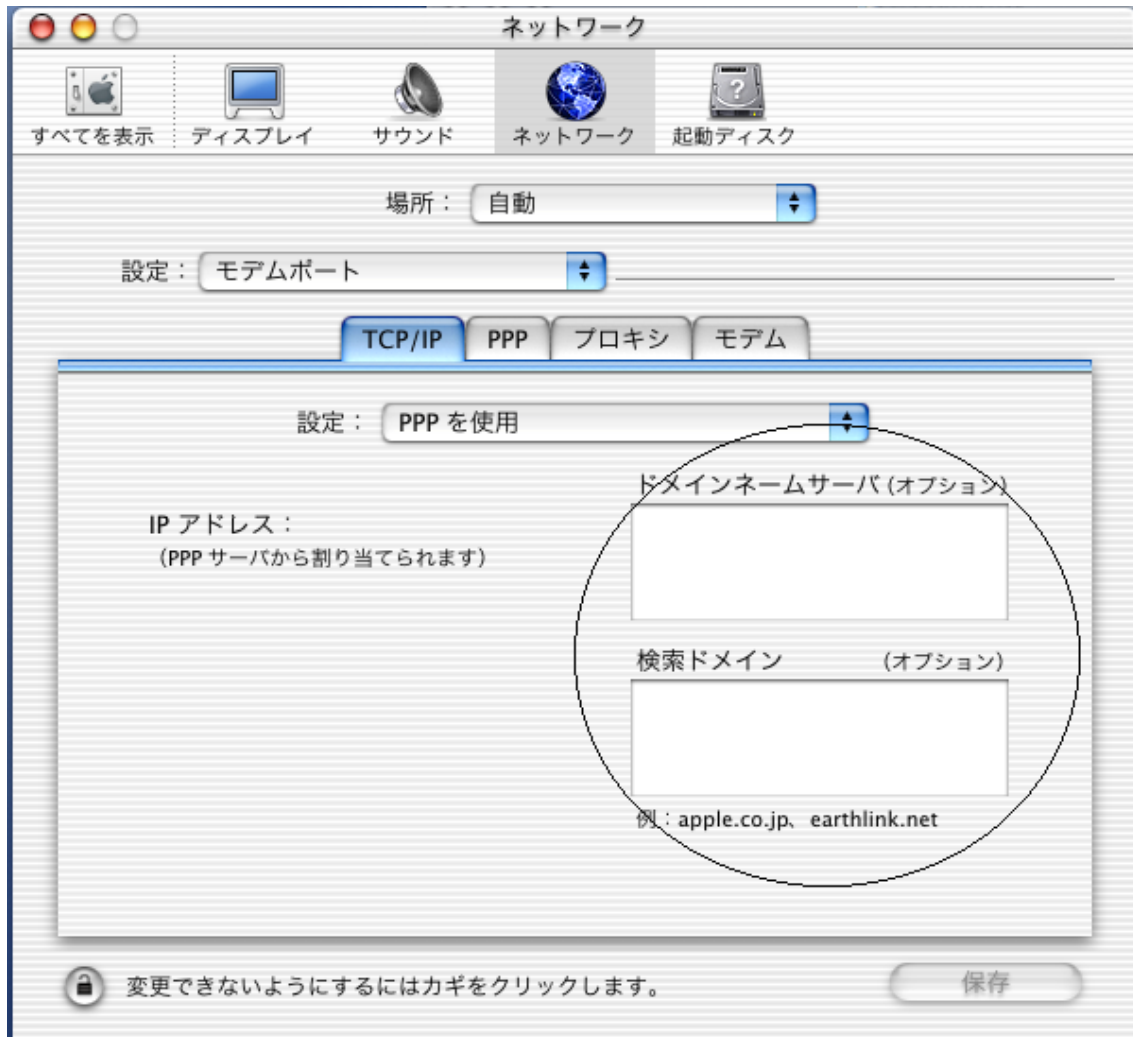
(Mac OS X 10.1の場合は「表示：」のポップアップメニューから「モデムポート」を選びます。)



(2)「TCP/IP」タブ画面の「設定」ポップアップメニューから「PPPを使用」を選びます。

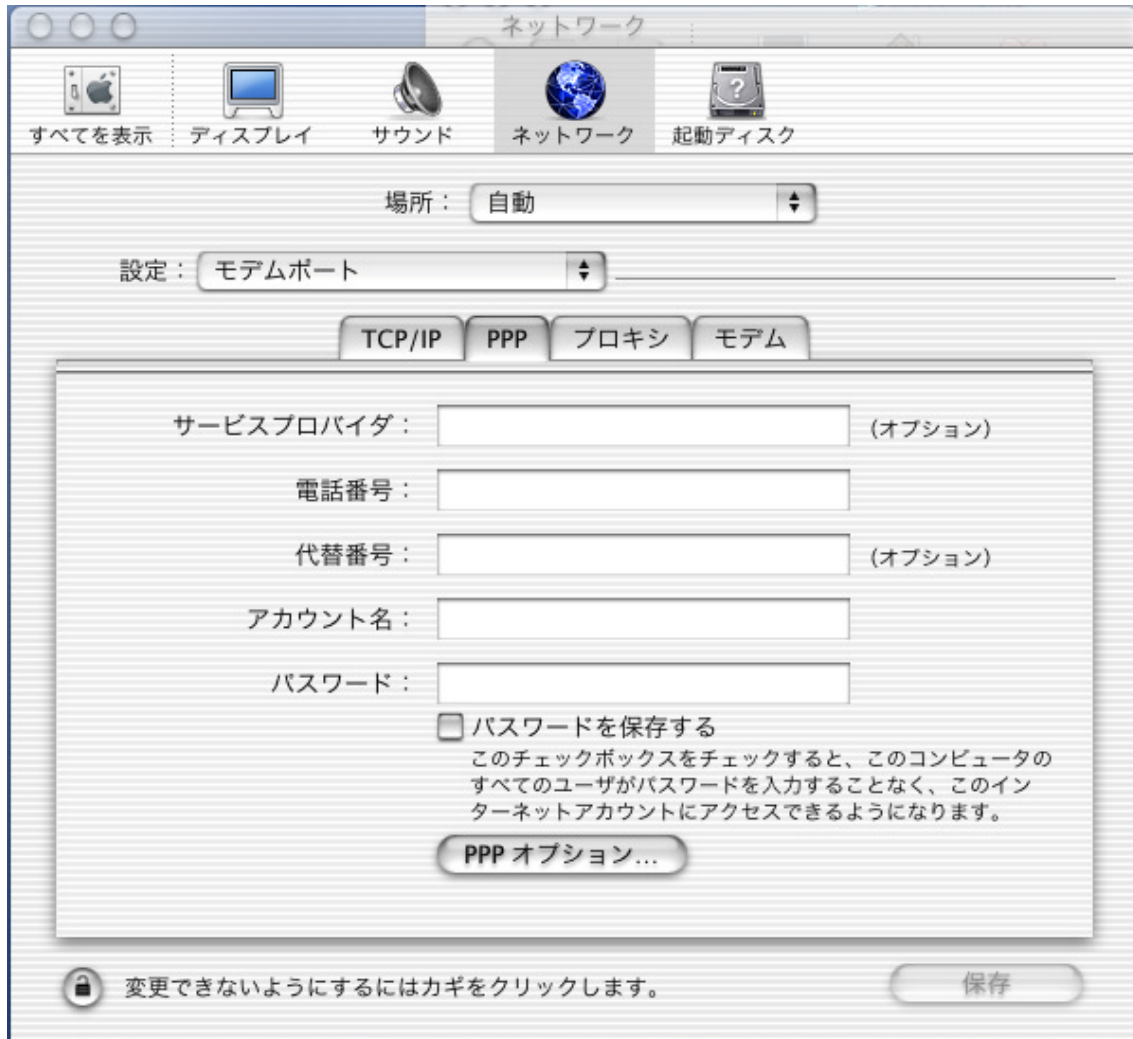


- (3) ドメインネームサーバ欄にプロバイダから通知された DNS の IP アドレスを入力します。
「検索ドメイン」欄にプロバイダから通知されたドメイン名を入力します。
入力は、プロバイダから通知された英数字(大文字、子文字)を正しく半角で入力してください。
DNS の設定の必要性がないプロバイダの場合は、「ネームサーバアドレス」欄や「検索ドメイン」欄に設定する必要はありません。

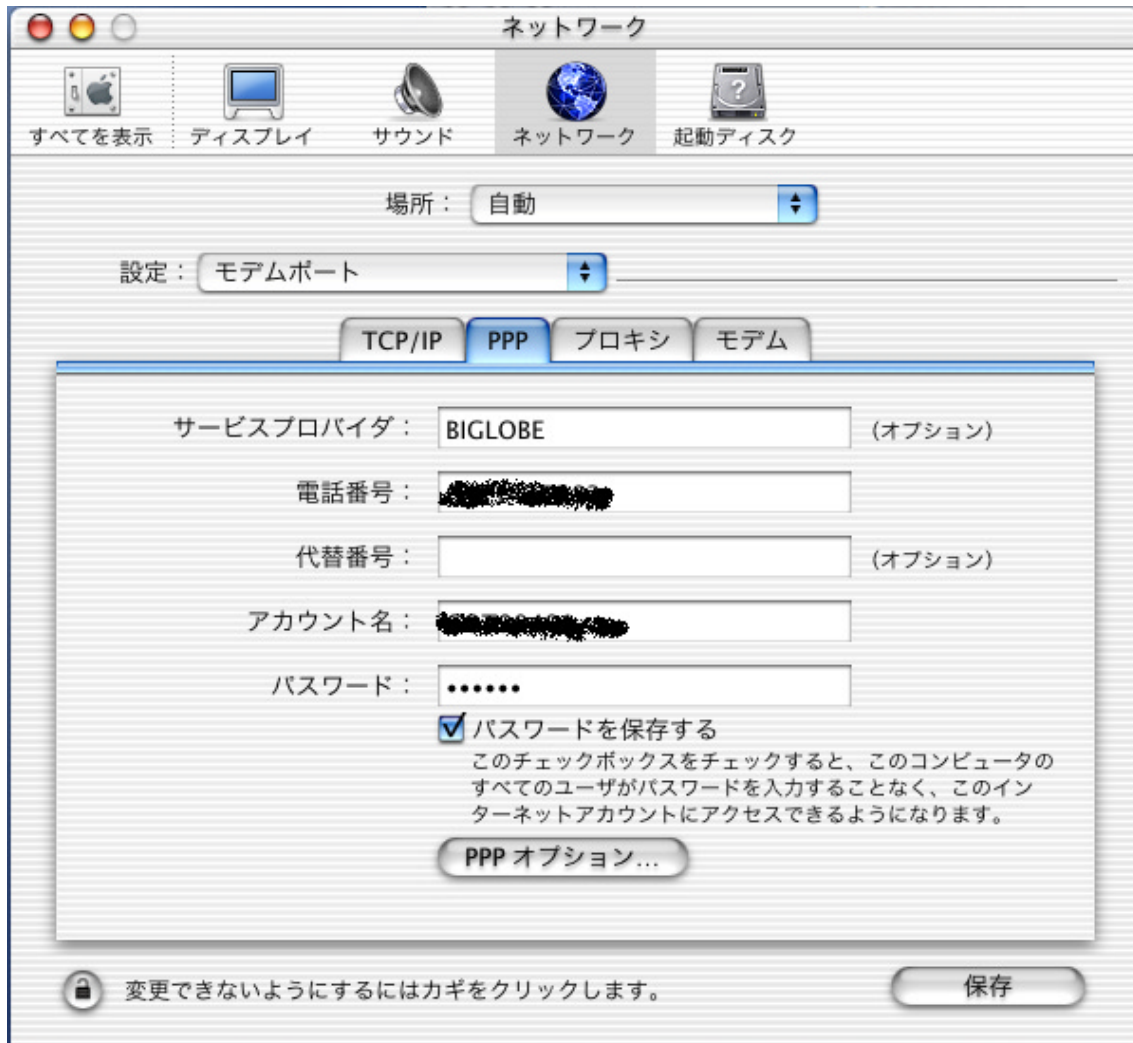


3.3 PPPの設定

(1)「PPP」タブをクリックします。



- (2) 「サービスプロバイダ：」欄には、任意の名称（一般的には接続するプロバイダ名）を入力します。
- (3) 「電話番号：」欄には、アクセスポイントの電話番号を入力します。
- (4) 「アカウント名：」欄には、プロバイダから通知されたユーザ ID を入力します。
特にフレッツ・ISDN を利用している場合は間違えのないようにしてください。
- (5) 「パスワード：」欄には、プロバイダから通知されたパスワードを入力します。
- (6) 「PPP オプション ...」ボタンをクリックします。



(ご参考)

・パスワード入力の際には、“.....”のような表示となります。これは入力したパスワードを隠すためです。

(7)「詳細オプション：」の「PPPエコーパケットを送信」のチェックをはずします。

(8)「詳細オプション：」の「TCPヘッダ圧縮を使う」のチェックをはずします。

(9)「OK」をクリックします。

セッションオプション：

- TCP/IP アプリケーションを起動するときに自動的に接続する
- 操作しないと接続を続けるかどうか確認する： 15 分間
- 操作しないと接続を解除する： 15 分間
- ユーザがログアウトするときに接続を解除する
- 話し中の場合再ダイヤルする

再ダイヤル回数： 1 回

再ダイヤル間隔： 1 分おき

詳細オプション：

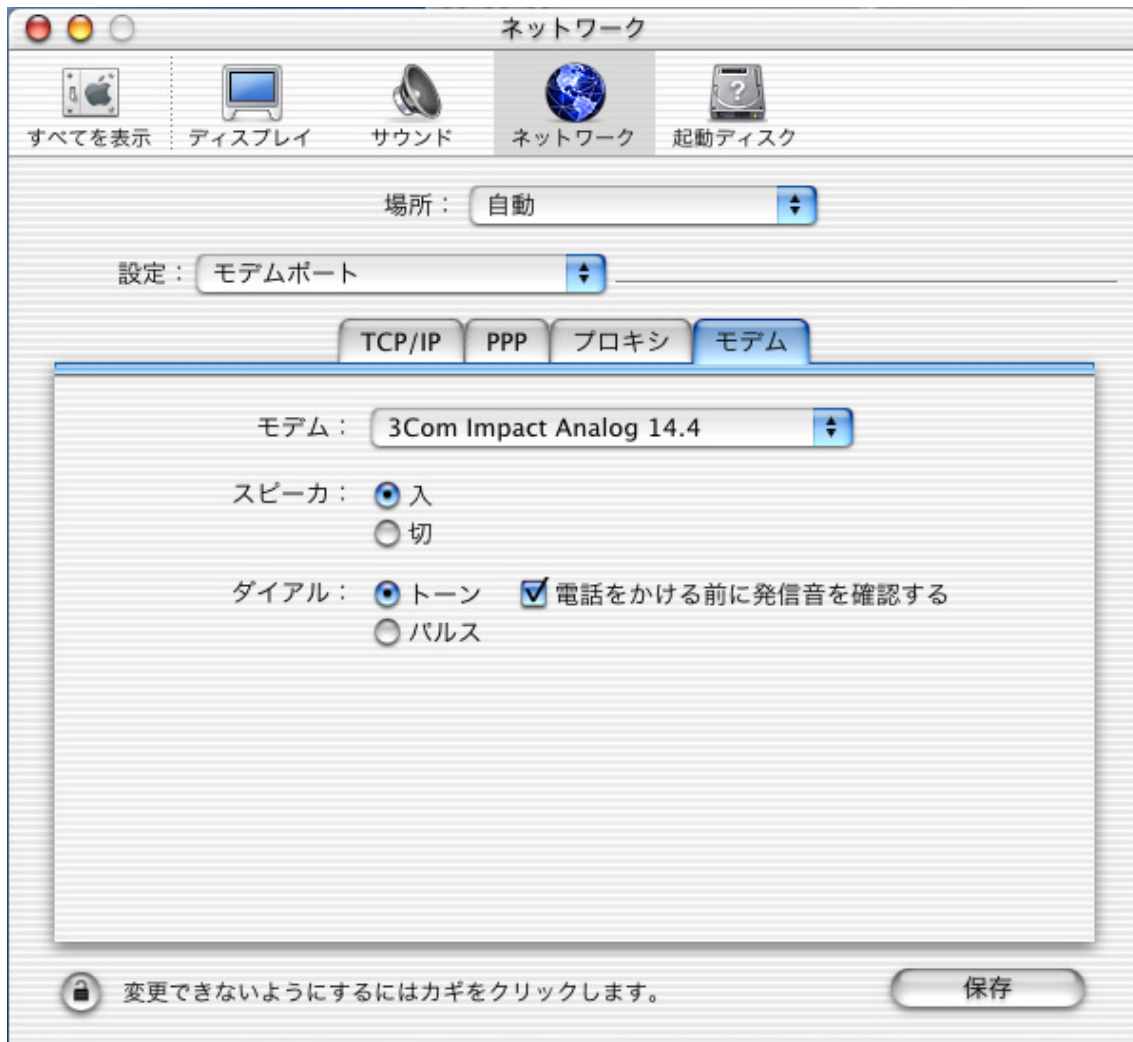
- PPP エコーパケットを送信
- TCP ヘッダ圧縮を使う
- ターミナルウィンドウ（コマンドライン）を使って接続する
- 詳細なログを作成する

キャンセル OK

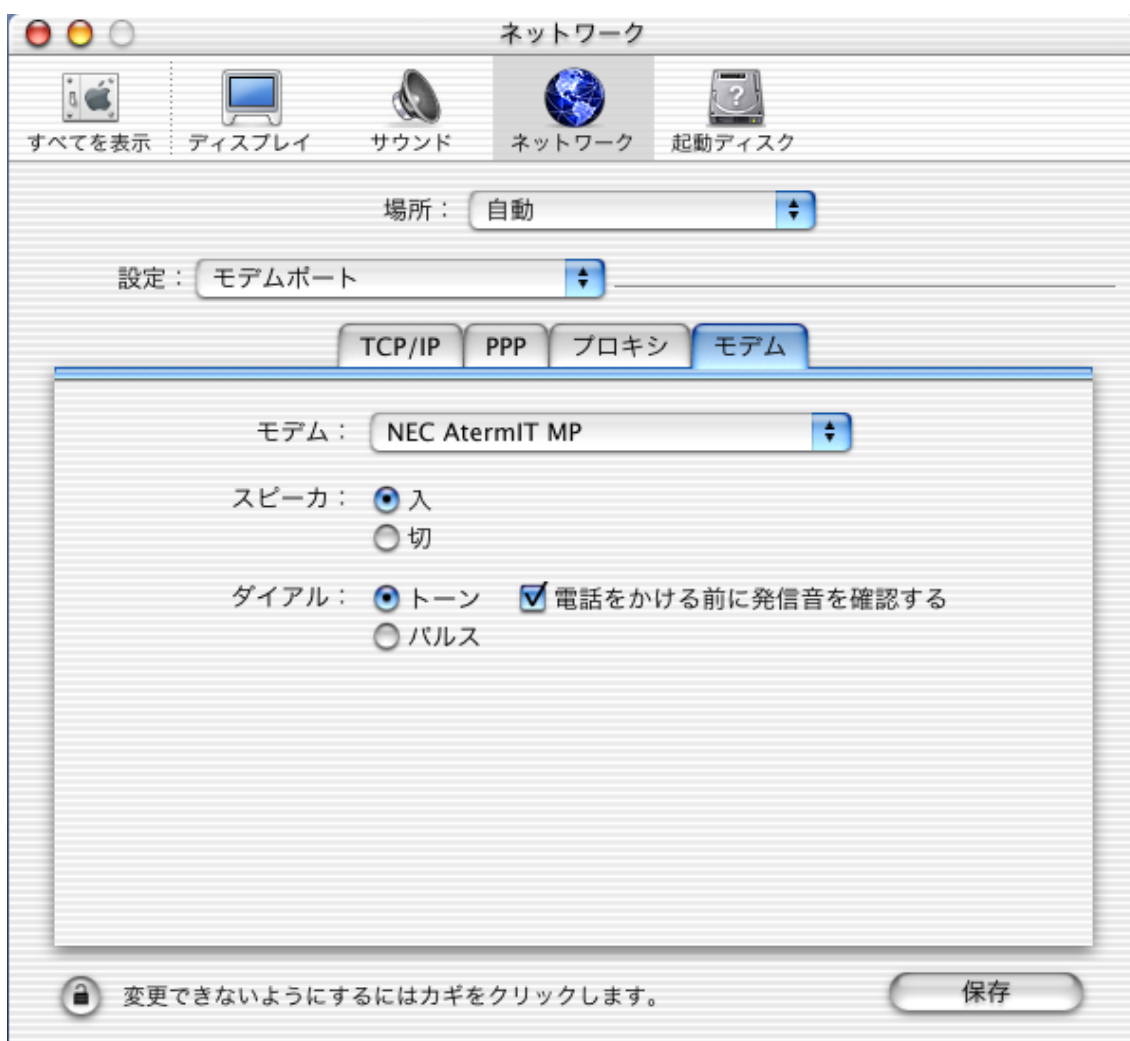
これで、PPPの設定が終了しました。

3.4 モデムの設定

(1)「モデム」タブをクリックします。



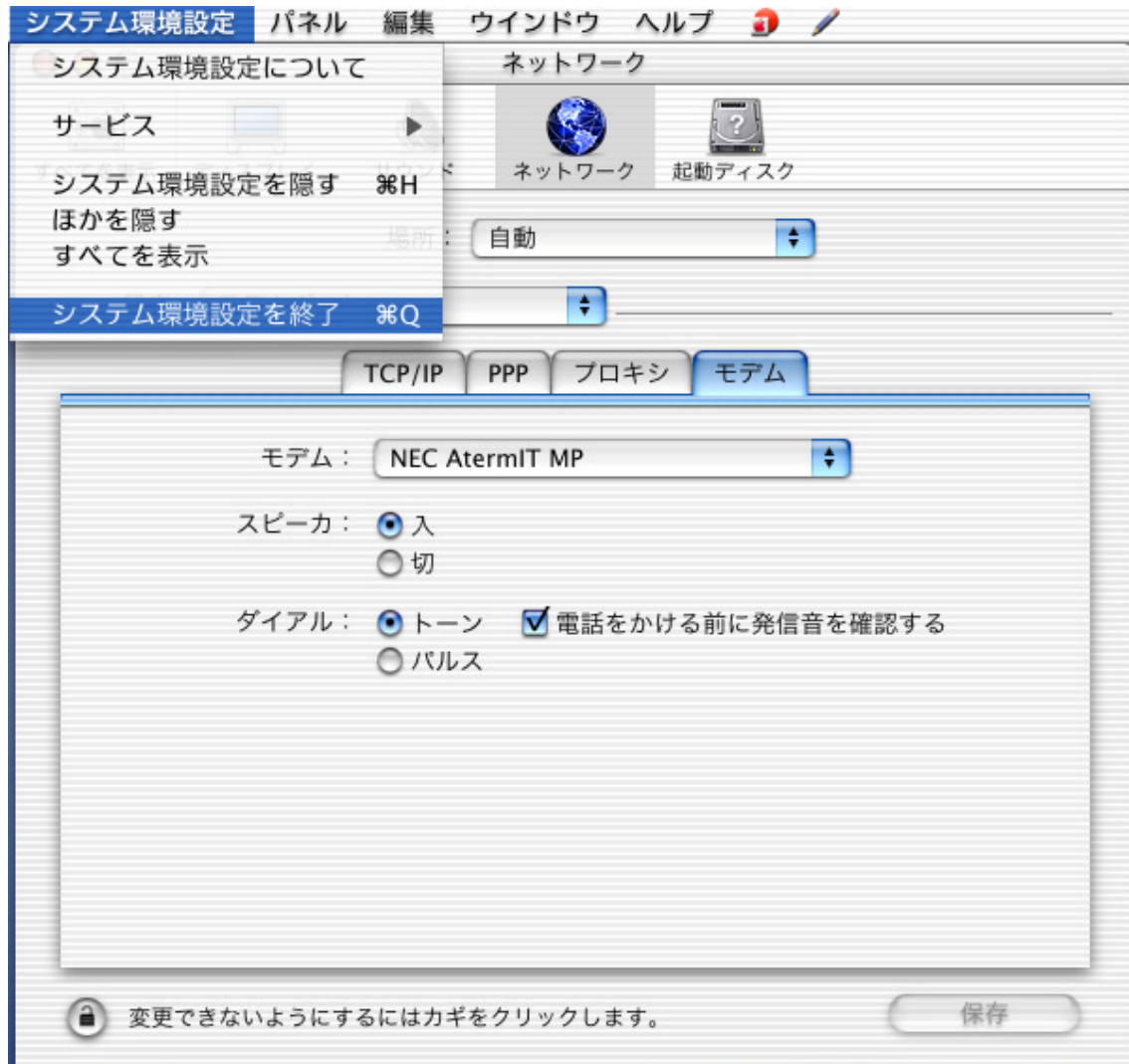
(2)「モデム：」ポップアップメニューから、プロバイダのアクセスポイントに合った CCL ファイル(モデムスクリプト)を選択します。例では、「NEC AtermIT MP」を選択しています。



アクセスポイント	CCLファイル(モデムスクリプト)
ISDN 回線 64Kbps 同期、フレッツ ISDN の場合	NEC AtermIT 64KPPP
ISDN 回線 128Kbps 同期	NEC AtermIT MP
非同期 57.6Kbps	NEC AtermIT 57.6K
PIAFS 32K	NEC AtermIT 32K PIAFS
PIAFS 64K	NEC AtermIT 64K PIAFS

(3)「保存」をクリックします。

(4)「システム環境設定」メニューから「システム環境設定を終了」を選び、Internet Connect 画面に戻ります。



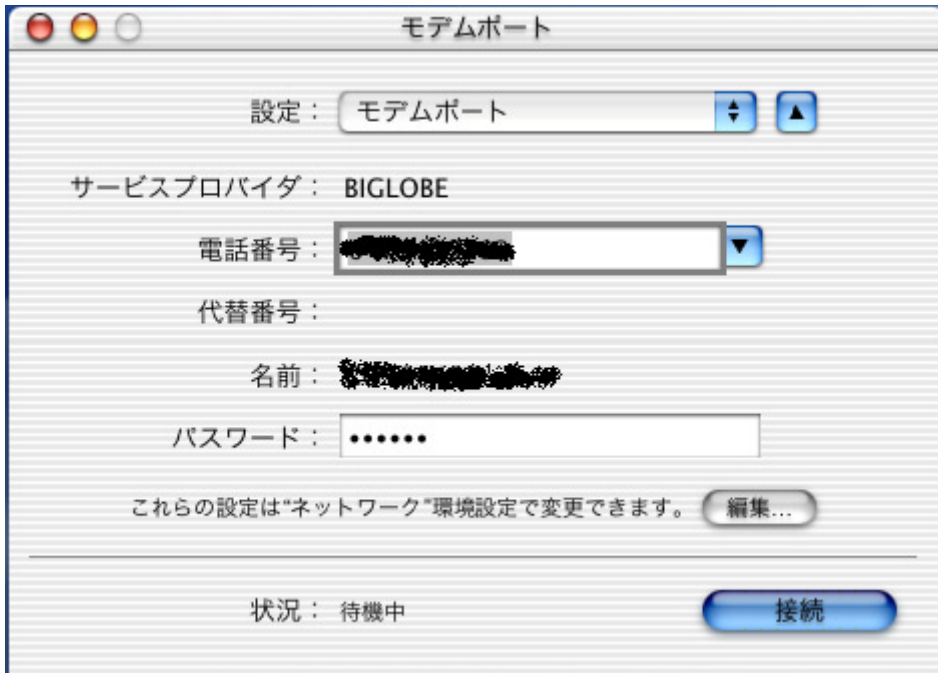
これで、ネットワークの設定が終了しました。

4. 接続

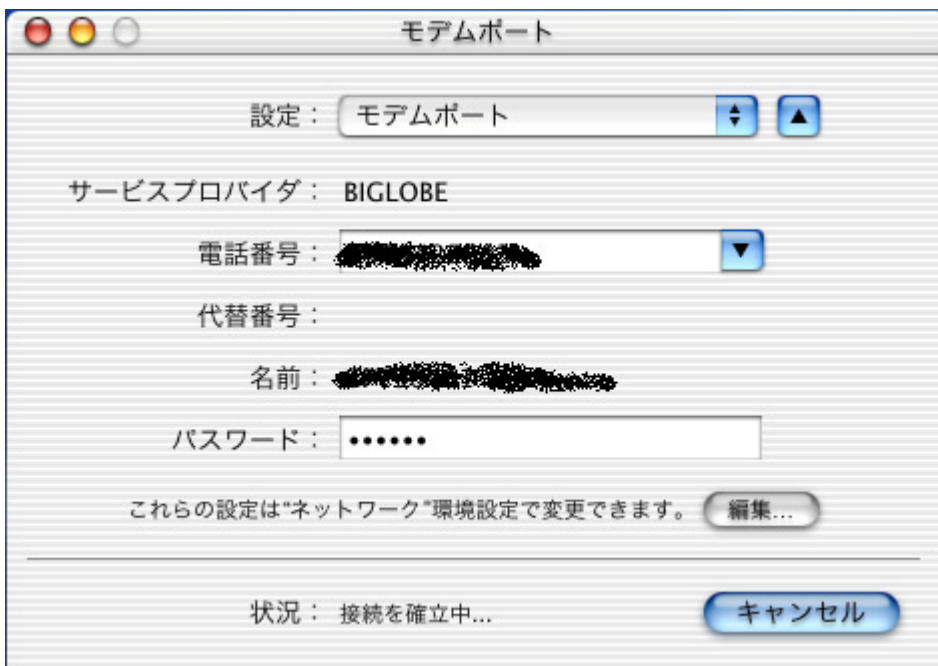
(1) Internet Connect の画面で次のことを確認します。

- ・「設定：」ポップアップメニューは、WARPSTAR が接続されているポートが選択されていますか
- ・「電話番号：」ポップアップメニューは、アクセスポイントの電話番号が選択されていますか

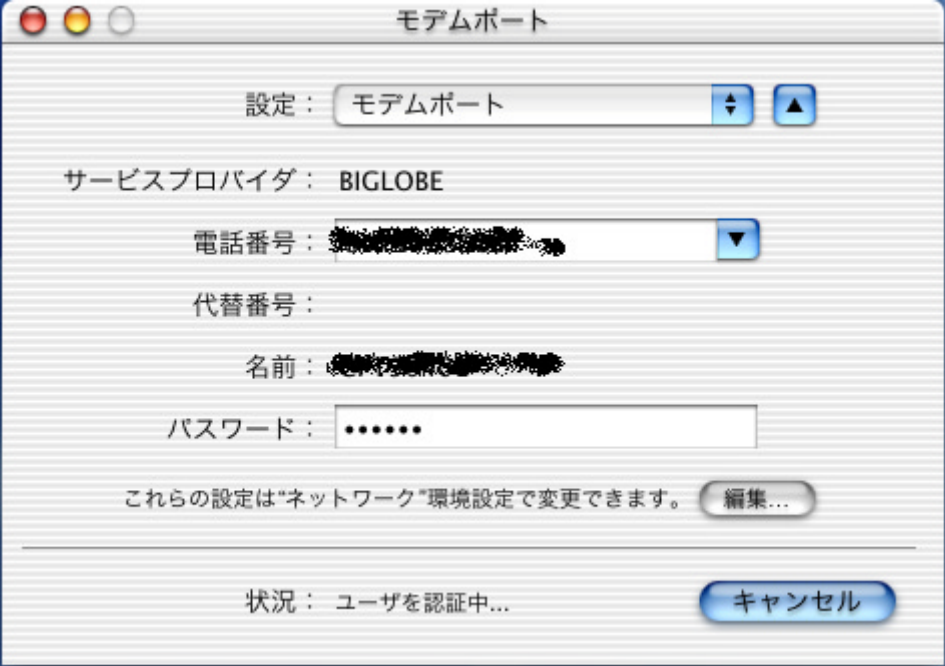
(2) 「接続」をクリックします。



(3) プロバイダに電話をかけ、接続を確立中であることが「状況：」欄に表示されます。

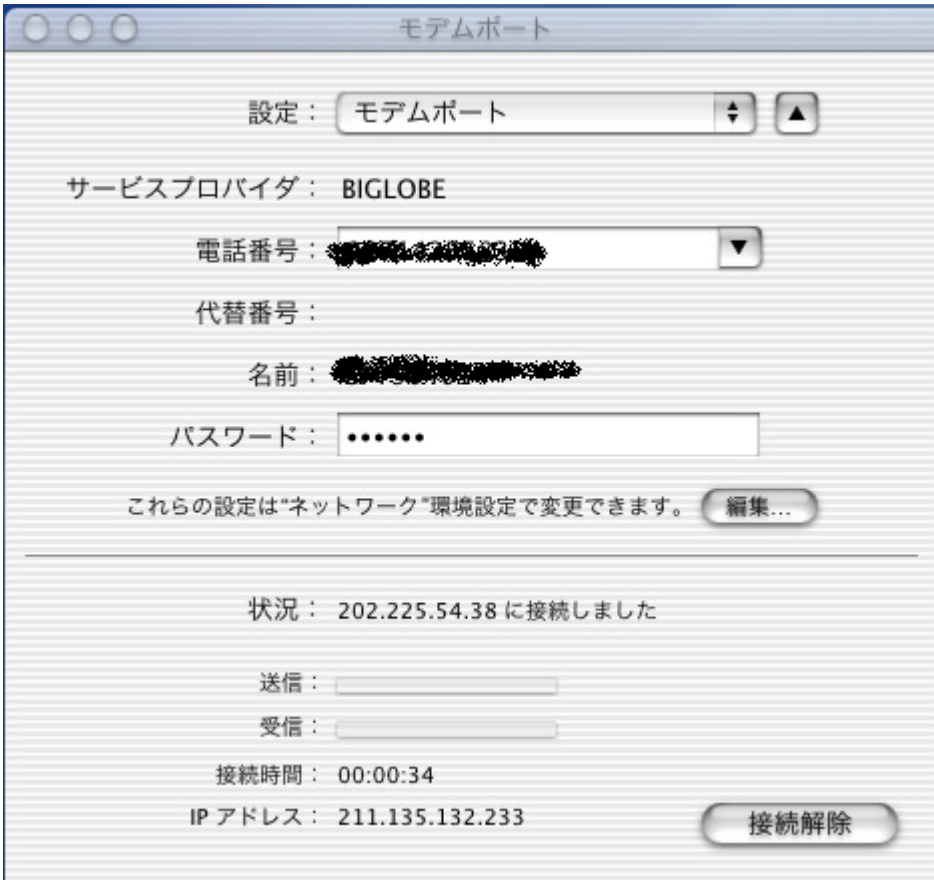


(4) ユーザを認証中であることが、「状況：」欄に表示されます。



The screenshot shows a window titled "モデムポート" (Modem Port). At the top, there is a "設定:" (Settings) dropdown menu set to "モデムポート" (Modem Port). Below it, the "サービスプロバイダ:" (Service Provider) is set to "BIGLOBE". The "電話番号:" (Phone Number) field is filled with a redacted number. The "代替番号:" (Alternative Number) field is empty. The "名前:" (Name) field is filled with a redacted name. The "パスワード:" (Password) field is filled with six dots. Below these fields, there is a note: "これらの設定は'ネットワーク'環境設定で変更できます。" (These settings can be changed in the 'Network' environment settings.) followed by a "編集..." (Edit...) button. At the bottom, the "状況:" (Status) field displays "ユーザを認証中..." (Authenticating user...). To the right of the status field is a "キャンセル" (Cancel) button.

(5) 接続が完了すると、「状況：」欄に接続したことが表示されます。

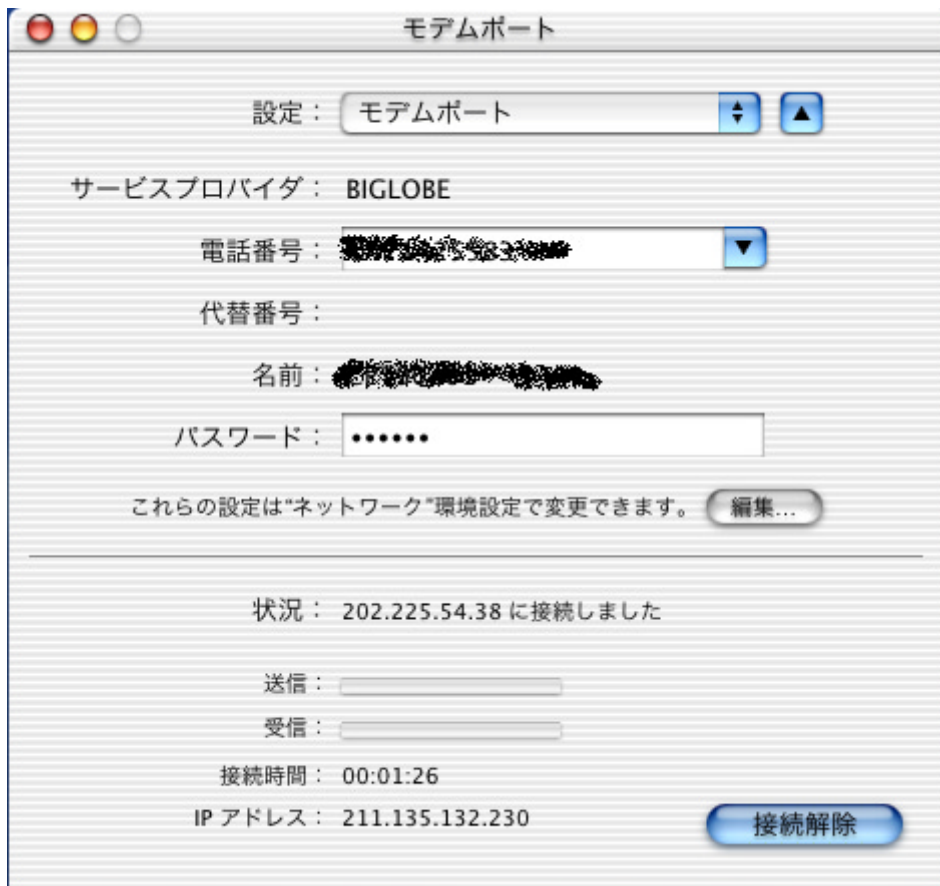


The screenshot shows the same "モデムポート" (Modem Port) window. The settings are identical to the previous screenshot. However, the "状況:" (Status) field now displays "202.225.54.38 に接続しました" (Connected to 202.225.54.38). Below the status field, there are two empty input fields for "送信:" (Transmit) and "受信:" (Receive). The "接続時間:" (Connection Time) is shown as "00:00:34". The "IP アドレス:" (IP Address) is shown as "211.135.132.233". At the bottom right, there is a "接続解除" (Disconnect) button.

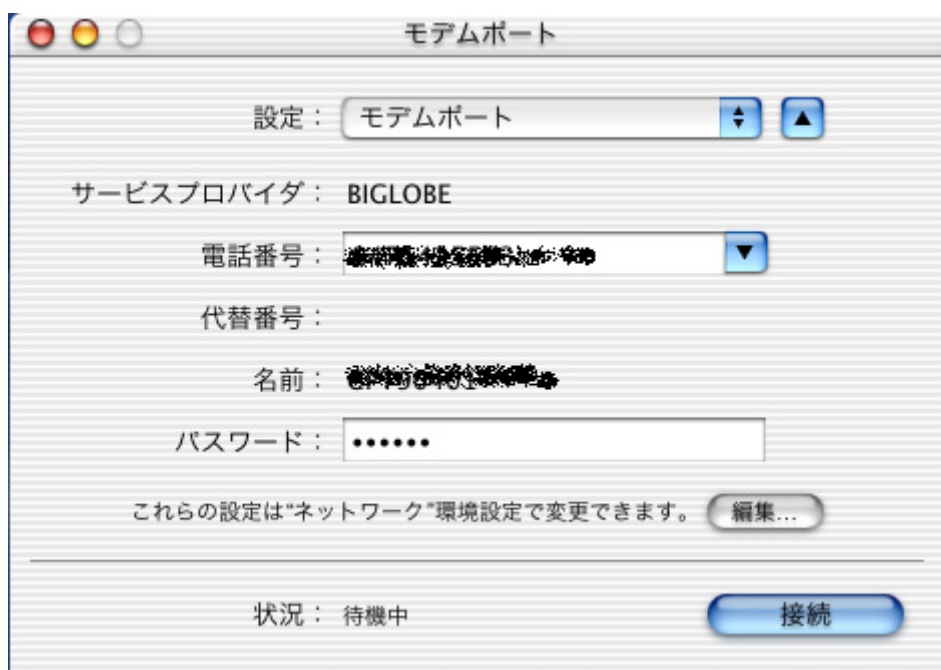
(6) Web ブラウザ (Internet Explorer など) を起動して、インターネット上のホームページの参照ができれば完了です。

5. 切断

(1) 「接続解除」をクリックします。



(2) 通信回線が正常に切断されると、「状況：」欄に「待機中」と表示された後、画面の右下のボタンが「接続」ボタンに変わります。



(ご注意)

- ・回線がつながったまま放置すると、通信費用がかかり続けます。このようなときは、WARPSTAR と INS ネット 64 を接続しているケーブルを一度抜いて回線を切断してください。WARPSTAR の回線ケーブルを抜くと、WARPSTAR のすべての通信は切断されます。他の機器が通信中（通話中）でないことを確認してからケーブルを抜いてください。
- ・プロバイダのアクセスポイントまで接続した後に、認証の失敗などで接続できないことがあります。その場合は、接続できなくても通信料金がかかります。